

2024年 7月 19日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名
 - ・年齢：
 - ・コールサイン：
 - ・連絡先 住所：
 - メール：

2. 提案カテゴリ（AまたはBを選択）
 - B アマチュア無線を知らない若者に興味を抱かせ資格取得を動機づけるアイデア

3. アイディア名：「e スポーツ CW コンテスト！」大会の開催

4. アイディアの概要（200字以内）：

モールスランナーのような本格的 CW コンテスト訓練ソフトを用い、対抗戦という方法で、（全国ひいては世界）競技大会を行う。そして、このコンテストを契機として日本 e スポーツ連合に加盟し、若者に CW コンテストを認知してもらう。

5. 詳細説明（図表を含めて4頁以内）：

（目的）
現代の若者が夢中になっている PC ゲームという手段を用いた e スポーツとして、CW コンテスト訓練ソフトコンテストを開催することによって、若者のゲーム心に訴える内容として CW コンテストの認知を獲得し、ひいては本物の CW コンテストへの興味を持ってもらう。

（概略）
e スポーツとして CW コンテスト訓練ソフトでのコンテストを開催する。日本 e スポーツ連合に加入し CW コンテスト訓練ソフトを種目の一つとして認知してもらう。ひいては全国都道府県対抗 e スポーツ選手権の一種目として CW コンテスト訓練ソフトコンテストを開催する。

（背景）
昭和世代がアマチュア無線を始めた頃は、PC もなかったし e スポーツという概念は当然なかった。昭和時代の若者は、最先端の技術として憧れをもってアマチュア無線に魅了されていた。しかるに携帯やスマホの登場と共に、相手の存在が不確実な無線という手段を取ることを面倒と考える人間は無線に飽きていった。また昔アマチュア無線に凝ったようなタイプの若者の多くは、現在は最初から PC ゲームに流

れた。現在の若者にとって、アマチュア無線はまったく関係のない未知のものになってしまった。

他方、HAM界のコンテストは、交信相手が不確実にしか応答できない相手であることによってむしろエキサイトする内容のものであり、以前から競争心やエキサイトメントを求めるアマチュア無線家にとって交信局数を争う世界規模の優れたゲームであった。現在は、CWコンテストは、パソコンが打ち出すCWという技術を用いる方法が多く用いられ、PCの最新技術を用い、瞬発力、判断力、効率性などを要求する点で、現代の若者が好むパソコンゲームと異ならないタイプの実質的にeスポーツとなっている。

CWコンテスト訓練ソフトは、PCを使い、実際のCWコンテストと臨場感も異ならず非常にエキサイトできるし、瞬発力、判断力、効率性などを要求するeスポーツである。もちろん、本物のCWコンテストは訓練ソフトよりさらに複雑な動きをするため、訓練ソフトより高度なeスポーツと言える。単にこれらが若者にeスポーツであると認知されていないだけのことである。

そこで、若者に対してCWの認知を広げるべく、CW訓練ソフトを用いてCW入門者向けコンテストを行うのはいかがかと提案する。彼らの競争心・エキサイトメントをまずはこの訓練ソフトによって求めることができるのである。

そして、競技人口が増えた段階で日本eスポーツ連合に加入し、CW訓練ソフトがeスポーツとして完全に認知されるようになることを志向する。

日本eスポーツ連合がCWをeスポーツと認定する条件は：

- ・「公平」な条件でだれでも参加でき、「参加者の技量」によってのみ勝敗が決するもの。

- ・一定の競技人口があり、競技会等が実施されていること。

- ・当該ソフトウェアの権利者が、eスポーツとして運営する体制を持っていること。

である。これらの条件はCW訓練ソフトなら満たしていると考える。

CWそのものを学ぶのも訓練ソフトが数多く存在し、CWマスターは今や困難ではない。例えばコッホ法などだと3か月で最低限の実用レベルに到達できる。

そして、最終的にはその参加者が本物のCWコンテストに興味を持ってもらうことを志向する。

(具体策)

- ・タイムアタックバトル形式で、CWコンテスト訓練ソフトを例えば2時間くらい行い、交信局数を競う、というeスポーツ大会を開催する。

- ・上記大会を、高校、大学対抗で行う。

- ・条件を満たした上で、日本eスポーツ連合に加盟する。

- ・海外アマチュア無線連盟と提携し、それぞれの国でCW訓練ソフトコンテストをeスポーツとして認知してもらうべく、それぞれの国のeスポーツ連合に加入する

など行動する。

- ・ CW 訓練ソフトについて、実践と異なる不具合、不公平になり得る不具合、については、設計者との協議で可能ならば修正する。

- ・ CW を覚えるサポートはハム OM が行う。

- ・ 最終的には、CW コンテストそのものを e スポーツの大会の一部門とする。

(効果)

e スポーツ大会が開催されることによって、日本 e スポーツ連合に加盟し、ひいては全国都道府県対抗 e スポーツ選手権の競技種目として認められることによって、CW コンテスト及び CW 訓練ソフトによるコンテストは e スポーツの一つとして認知されるようになり、CW が若者に抵抗感なく参加できるようになる効果がある。そして次に、本物の CW コンテストを彼らに紹介することで、本物のコンテストのさらなる面白さに触れ、CW そのものに興味を持ってもらうという効果がある。

6. 参考情報（任意）

- ・ Web 情報：一般社団法人日本 e スポーツ連合オフィシャルサイト

<https://jesu.or.jp/>